



日本佛教綜合研究学会 第二回例会 山と佛教

—日本の山林仏教をめぐる教理・考古・建築・歴史・民俗—

期　　日　平成30年9月24日(月)

会 場 東京大学史料編纂所 大会議室
(情報学環・福武ホールB1F)

* なお、祝日のため例会開始後は、入口が施錠されます。
遅れる場合は、到着後 03-5841-5950 (直通)におかけ下さい。

参加費 500円 来聴歓迎

会長挨拶 吉田一彦（名古屋市立大学）・・13:00～13:05

発 表 (各発表40分)

①仏教における「行」と山 · · · · · | 3:05~3:45

蓑輪顕量（東京大学）

②日本古代の山林寺院とその建築 . . . | 3:45~14:25

箱崎和久（奈良文化財研究所）

(休憩)

③中世後期における修験道と顯密仏教・14:45~15:25

近藤祐介（鶴見大学）

④修驗道の想像力とは何か · · · · · | 15:25~16:05

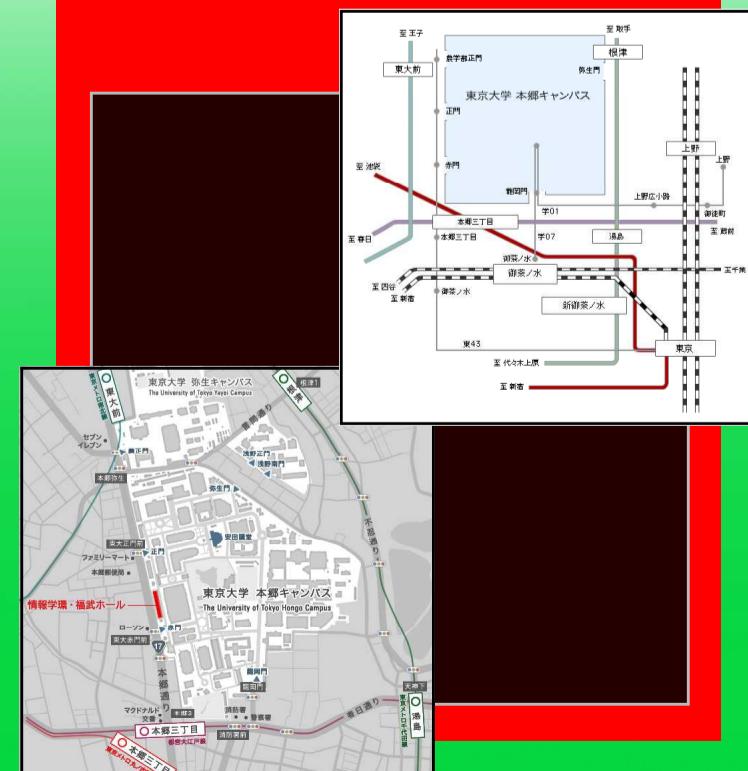
鈴木正崇（慶應義塾大学）

コメント：曾根正人（就実大学）……16:20～16:40

懇親会 参加費3,500円

《アクセス》

- ・ 東大駅前
(地下鉄南北線) 徒歩 1 分
 - ・ 本郷三丁目駅
(都営大江戸線) 徒歩 6 分
 - ・ 本郷三丁目駅
(地下鉄丸の内線) 徒歩 8 分
 - ・ 湯島駅
 - ・ 根津駅
(地下鉄千代田線) 徒歩 8 分
 - ・ 春日駅
(都営三田線) 徒歩 10 分



写真：比叡山延暦寺常行堂（撮影：吉田一彦）